

西小倉地域小中一貫校整備検討委員会

第13回 学校部会会議録

日 時 令和5年5月25日(木) 19時30分 開議

場 所 宇治市立西小倉中学校 視聴覚室

会 議 日 程

1. 学校部会協議

①開会

②今後の整備スケジュールについて

③開校に向けて決めていくことについて

④通学路の進め方について

⑤今後の学校部会等について

⑥閉会

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(副部会長)

黒田 忠雄

(委員)

門脇 洋子 白藤 友子 栗下加代子 市橋 公也

手塚 ゆかり 中山 牧子 戎谷 裕子 貝村 愛

大西 育代 馬淵 伸一

(事務局 教育委員会)

学校改革推進課長 吉川 貴之 学校改革推進課副課長 平山 幸司

学校改革推進課総括指導主事 坂上 敬宣 学校改革推進課 芦田 健史

学校改革推進課 半田 悠祐 学校改革推進課 瀬野 克幸

学校改革推進課 島田 尚明

(事務局 建設部)

施設建築課課長 塩谷 知子

施設建築課副課長 池本 泰

開 会 (19時30分)

1. 学校部会協議

① 開会

部会長が「西小倉地域小中一貫校整備検討委員会第13回学校部会」の開会を宣言する。

定刻になりましたので、会議を始めさせていただきます。

委員の皆様、このたびは、第13回学校部会にご参加いただきありがとうございます。

それでは、次第に従いまして、議事を進めさせていただきます。

② 今後のスケジュールについて

それでは、今後のスケジュールについて事務局から報告をお願いします。

《事務局より報告》

それでは、「(仮称)西小倉地域小中一貫校に係る今後の整備スケジュール」について、事務局より説明いたします。

まず、①仮設橋設置工事です。

期間につきましては、今年度の秋頃を予定しています。また、内容につきましては、現西小倉中学校敷地南側に面する井川に仮設橋を架けて、原則工事車両はこの仮設橋から学校敷地内に進入することにして、生徒との動線を分けて安全確保を行います。

次に、②校舎建築工事、サブグラウンド整備です。

仮設橋を設置して、校舎建築工事について地元への説明を踏まえて、令和6年1月頃から工事に入る予定です。新校舎の建設工事に加えて、現在の柔剣道場を解体し、令和8年の開校時にはサブグラウンドの整備を終えて、児童生徒の活動場所として活用できるようにしたいと考えています。

最後に、③旧校舎解体工事、メイングラウンド等整備です。期間としては、約1年半程度を予定しており、旧校舎の解体工事、東門付近の整備、メイングラウンド、テニスコート等の整備を行います。②校舎建築工事、サブグラウンド整備の期間の体育や部活動については、近隣の小学校グラウンドなどを活用することを想定しており、また、③校舎解体工事、メイングラウンド等整備の期間の体育や部活動については、2つの体育館、武道場、サブグラウンド、近隣の小学校グラウンドなどを活用することを想定して

います。

以上、簡単ではありますが、事務局の説明を終わります。

〔質疑〕

委員：地域への説明会はいつ行うのか。

事務局：①の令和5年秋頃の仮設橋を設置し、②の令和6年1月頃から新校舎建設工事が始まるので、1月の工事前に加え、秋頃までに説明会を行いたいと考えている。

委員：地域の方への説明については、早め、早めに行っていただきたい。

事務局：工事開始前の説明会に加えて、実施設計の内容や仮設橋設置についての説明も実施していきたいと考えている。

③ 開校に向けて決めていくことについて

それでは、今回皆様からいただいた「③開校に向けて決めていくこと」について事務局より説明願います。

《事務局より報告》

それでは、「開校に向けて決めていくことについて」、事務局より説明いたします。

令和8年4月の小中一貫校の開校に向けて、資料に記載のとおり、さまざまなことを決めていく必要があります。加えて、(仮称)西小倉地域小中一貫校は3小1中の統合となりますので、新たに通学路の設定を行う必要があります。

まず今年度は、通学路を中心に検討していきたいと考えておりますが、そのほか学校名・学園名、校章、校歌、制服などをどのように決めていくかについても検討していきたいと考えています。

学校名としては、小学校名と、小中合わせた小中一貫校としての学園名はもちろん、中学校名についても現在の西小倉中学校をそのまま使用するかどうかも含めて検討する必要があります。

参考として、平成24年度に宇治市で初めて開校した小中一貫校である宇治黄檗学園では、既存の宇治小学校に新たな中学校である黄檗中学校を設置した形であり、小学校名は「宇治小学校」をそのまま継続して使用し、中学校名と学園名を公募して、それぞれ「黄檗中学校」と「宇治黄檗学園」に決定しました。

校章や校歌については、学園として一つのものとするのか、現在の西小倉中学校の校章・校歌をそのまま使うのか、新たに小学校のものを作るのかどうか、また、公募していくのかも含めて検討する必要があります。

参考として、宇治黄檗学園では、宇治小学校の校章と校歌を学園章と学園歌として使用しています。

制服については、デザインの決定方法、どの学年から着用するのかなど決めていく必要があります。

参考として、宇治黄檗学園では、中学生のみブレザーの制服を着用しています。

また、これらのことを検討していく過程では、児童生徒や保護者、教職員の意見も聴

ききながら、一緒に考えていきたいと考えております。

なお、資料右下に【その他開校までに決めていくこと】として、いくつか記載しておりますが、開校までに、学校部会だけでなく市教委や学校で決定していく内容もありますが、その他決めていく必要がある事項として記載しております。

以上、簡単ではありますが、事務局の説明を終わります。

④ 通学路の進め方について

それでは次に、通学路の進め方について、事務局から説明願います。

《事務局より報告》

(仮称)西小倉地域小中一貫校の通学路設定の進め方について説明いたします。

資料3をご覧ください。(仮称)西小倉地域小中一貫校の通学区域については、下表のとおり、現在の西小倉小、北小倉小、南小倉小の通学区域を予定しております。

まず、現在の3小1中の通学路についてです。

こちらは、西小倉地域の地図で、赤色の線が西小倉中学校の通学路、緑色の線が西小倉小学校の通学路、青色の線が北小倉小学校の通学路、黄色の線が南小倉小学校の通学路となっております。

次に、こちらの図は、小学校ごとの通学班と班ごとの人数です。班編成等は今後変更するかもしれませんが、現在の通学路を基本としつつ、より安全なルートを通して西小倉小中一貫校までの通学路を検討していきたいと思っております。

こちらの図は、市教委であらかじめ通学路の調査を行い、子ども達が通学する際に特に気を付けた方がよいと思われる個所や「宇治市通学路交通安全対策箇所」記載箇所と周辺の児童数をまとめたもので、これが資料4です。

この中から、いくつか写真等を見ながらご説明いたします。

まず、①、②です。

安田地域の中学生は、現在大久保バイパスの横断歩道を渡り、宇治八幡線を東に進んで登校しておりますが、小学生は現在は、アンダーパスを通して西小倉小学校へ通学しています。

次に⑩についてです。

現在も北小倉小学校の通学路となっており、見守り隊の方やPTAの方による見守りを行っていただいている箇所ですが、交通量が多い交差点のため、小中一貫校の通学路としても見守りが必要かもしれません。

次に、⑧についてです。

⑩～⑥までは歩道が整備されておりますが、⑧の箇所では歩道が途切れる交差点があります。交差点には車両用の信号はありますが、歩行者用の信号はありません。

⑩～⑥では、一部歩道が途切れる箇所はあるものの、歩道が車道より高くなっているので安全に歩けると考えられます。しかし、⑥の位置から南へ進むルートでは、高校生の登校時の自転車や保育園の送迎の車等にも注意が必要になります。

⑧の交差点を西に進まず南に折れ、住宅街を通過して山際通りに入るルートも考えられます。

このように、現地確認などを行い、どのルートを通ればより安全か、どんな対策が必要になるかということを検討していただきたいと思います。

今紹介したのは通学路についての一部の情報ですが、今後の通学路の検討の進め方としましては、

学校部会委員、学校、PTA（地域委員等）、市教委を「通学路検討チーム」とし、通学路を実際に歩いて通学区域の現地調査を行いたいと思います。

そして、現地調査したメンバーで気づいたことや通学路とすべきルート、安全面などについて意見交換を行い、学校部会に報告し、通学路について検討していきたいと思います。現地調査等の回数については状況に応じて設定していきます。

市教委といたしましては、それぞれの小学校区ごとに検討していく必要があると考えております。

資料5をご覧ください。通学路検討チームのイメージとしては、各小学校区ごとにメンバーを学校部会委員、各小学校PTAの方（地域委員等）5名程度、事務局で構成していきたいと思います。PTAの方5名程度としておりますが、学校の実情に応じて、見守り隊の方に入ってもらったり、人数を増減したり等、各チームの長である校長先生を中心に、柔軟にご対応いただきたいと思います。裏面は学校部会委員の方々は、それぞれ関係していただいている小学校区ごとに割り振りさせていただいております。まだ丸が入っていない方は、お住いの小学校区の検討チームに参加していただきたいと思いますがいかがでしょうか。学校部会委員の方の通学路検討委員会の参加につきましては、可能な範囲で参加いただきますようお願いいたします。

もう一度資料3をご覧ください。通学路検討のスケジュールについては、本日の検討を受け、事務局から6月初旬に通学路検討チームの依頼等を行います。その後、各小学校ごとに校長先生を中心に通学路検討チームでの現地確認を開催していただきたいと思います。開催案内等は事務局から各検討チームにご連絡いたします。

開催回数等は状況に応じて調整していただきたいと思います。7月中に通学路検討チームの全体会を設け、各検討チームからの現地調査の報告と検討を行い、必要に応じて再度現地確認を行いたいと思います。そして、まとめた内容を7～8月の第14回学校部会で報告していただき、通学路（案）を検討し、9月の第15回学校部会で通学路（案）を決定していきたいと考えております。

通学路（案）決定後は、さらに必要な安全対策を検討し、令和8年の開校後も通学路の安全確認をして必要に応じて対策を検討していきます。

以上が西小倉地域小中一貫校の通学路設定の進め方の説明となります。

この後、グループでの意見交換を行い、先ほどの説明を受けての感想やメンバー、グループ等の検討方法やスケジュールについてなど、自由に意見交換を行っていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

《意見交流（20分）》

それでは、時間になりましたのでグループごとにどのような内容であったか報告願います。

《グループごとの報告》

[A グループ]

- ・通学路の見守りに参加してくれる人をどう募るのか。校長先生から公募をすることも考えられる。そのためには事務局とも密に連携をとっていく必要がある。
- ・どんなことを要望していくのか検討していく必要があるが、自由な発想でいろいろな意見を出していくことが、突破口となっていく。

[B グループ]

- ・通学路検討チームとしては事務局から説明があった方法で進めていってもらいたい。
- ・現地調査の時間帯は、子どもたちが通学する時刻に合わせて見る必要がある。
- ・最短距離で安全な通学路となるように実際に歩いてみる必要がある。
- ・北小倉小学校からは通学距離が長くなるが、南小倉小学校のルートを利用することも考えられるので、併せて検討する必要がある。
- ・信号機をどこに設置するかも考える必要がある。今ある信号機が不要になれば必要な場所につけかえる等、警察とも連携して検討していく必要がある。
- ・現在の通学路の危険個所についての意見交流を行った。
- ・子どもの目線で現地調査を行う必要がある。

[C グループ]

- ・蓮池からは1.9kmほどあるので、スムーズに通学するためにも置き勉等についても検討する必要がある。
- ・安田町からの通学は、アンダーパスを通った方が安全ではないか。
- ・北小倉小学校区からの通学は、西小倉小の辺りを通して小中一貫校の北門から入った方が安全ではないか。
- ・見守りには大人の協力が必要になるが、現在の見守り隊の方は、高齢化が進んでいるため、保護者世代を中心に世代交代を行っていく必要がある。
- ・南小倉小学校区では、井川を超える橋の手前が急な坂道になっているため危ない。

短時間ではありましたが、通学路設定の進め方についてグループごと活発な交流をおこなっていただき、ありがとうございました。

グループごとから出た意見から、市教委から提案した小学校区ごとに通学路検討チームでの検討ということは委員の皆様にもご承認いただけと思いますので、資料3の

スケジュールにそって検討を進めていきたいと思います。また、その他のグループワークで出た意見につきましては、市教委でまとめまして、検討チームでの検討の際に活かしていきたいと思います。

メンバー選出につきましては、事務局が学校部会委員の校長先生や各校のPTA役員の方々とメール調整を行っていききたいと思います。メンバー選出に関わる質問等がございましたら、メールや電話で事務局までお問い合わせください。

メンバー決定後、「通学路検討チーム」にはPTAの地域委員から追加した後、市教委から現地調査の日程調整を行いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

⑤ 今後の学校部会等について

それでは、「今後の学校部会等」について事務局に説明をお願いいたします。

《事務局より説明》

それでは、「今後の学校部会等について」、事務局より説明いたします。

先ほどの通学路の設定についてでご説明しましたが、今後は、「通学路検討チーム」で、通学時間や下校時間の児童生徒が歩く時間帯に実際に歩いて現地調査を行い、通学路として望ましいルートについて意見交換を行い、その結果を学校部会に報告して議論を深めていくことを考えております。

現状の想定としては、6月頃から2か月ほどかけて「通学路検討チーム」での現地調査と意見交換を行い、8月頃に学校部会に報告し、9月頃には通学路の（案）を決定したいと考えております。

「通学路検討チーム」にはPTAの地域委員から追加した後、市教委から現地調査の日程調整を行いますので、よろしく願いいたします。

また、学校部会の開催の際は、従前どおり事前に委員の皆さまのご都合を伺って日程調整を行いますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上、簡単ではありますが、事務局の説明を終わります。

それでは、ただいまの説明について、ご質問はございますか。ご質問のある方は挙手願います。

⑥ 閉会

以上で本日の部会は終了となります。

本日はありがとうございました。

閉 会 （20時30分）